

鷹の台公園整備基本計画（素案）に対する
市民意見公募（パブリックコメント）の結果について

1 実施の概要

実施期間	令和5年12月25日（月） ～ 令和6年1月23日（火）	
意見提出者数	23人	
提出方法	持参	6人
	郵送	1人
	市ホームページ	15人
	電子メール	1人
	FAX	0人

2 ご意見に対する対応状況

反映状況	件数
反映済み	13件
反映する	1件
反映しない	1件
参考意見	30件
合計	45件

※ 市民意見公募（パブリックコメント）の結果の公表にあたっては、とりまとめの都合上、
いただいたご意見を一部要約する等の整理をしています。

3 市民意見公募（パブリックコメント）に対する考え方

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	対応
1	地球温暖化の著しい昨今、関東でも4月から暑い気候になる。また、地球を守るため、世界的にも自然保護の重要性が叫ばれ、保護の方向にある。自然豊かな、暑い時期でも緑陰でもくつろげるような公園にしていきたい。「花と緑のまちこいだいら」にふさわしい、小平から自然の豊かさ、恩恵を発信できる公園になることを祈っている。	本計画第3章（3）整備の基本方針で示す「豊かで美しい自然のある環境づくり」の考え方のもと、公園内に複層的な在来種主体の植栽を導入し、まとまり・連続性・変化のある植栽空間を整備します。 また、緑陰の下で来園者が快適に休憩利用等できるよう要所にベンチ等を配置します。	反映済み
2	ささやかでもドッグランがあり、アニマルセラピーに一役買うことができればと思う。	本公園内に常設のドッグラン専用スペースを整備する考えはございませんが、広場エリアを用いたイベントの実施等、今後の公園の管理・運営に伴うソフト面の取組に関する参考とさせていただきます。	参考意見
3	このたびの素案が確定でないのであれば、是非ともドッグランを作ってほしい。愛犬協会や、犬を飼う方が声を上げられずにいたことを踏まえて、先頭に立って声を上げている。今一度、立ち止まって検討いただきたい。 議会でも報告があったとおり、先日2カ所で開催した仮設ドッグランも大盛況であった。 現在、たけのこ公園ドッグランでは、プロサッカー選手にご協力いただき、たけのこ公園ドッグランの再整備を検討している。たけのこ公園ドッグランが綺麗になれば、プロサッカー選手と地元NPOが協力して作り上げたということで、全国紙でも取り上げられるだろう。すでにイエローチョークがメディアで取り上げられているが、今度はドッグランである。	本公園内に常設のドッグラン専用スペースを整備する考えはございませんが、広場エリアを用いたイベントの実施等、今後の公園の管理・運営に伴うソフト面の取組に関する参考とさせていただきます。	参考意見
4	直営、委託、PFIなど、どのような事業形態であっても運営管理に利用団体や市民が関わっていける仕組みづくりを行っていくことがこれからの公園づくりには欠かせないと考える。市長の公約でもある市民参加のまちづくりを推進する上でも、大変重要な事業と思う。 まずは運営に関する円卓会議を設置し、行政と市民が定期的に話し合える場を設けていただくことを希望する。 今後のリーディング事業となるよう尽力いただきたい。	本計画第4章（7）管理運営の考え方で示すとおり、本計画の目標実現に向けては、利用者目線による管理運営、活用が不可欠と考えております。 具体的な運営方法等については、今後の参考とさせていただきます。	参考意見
5	図に凡例やスケールを入れてほしい。特に、図4-1には黒線の凡例がなく、何を示しているのか分からない。また、図4-2にスケールがなく、それぞれのスペースがどれくらいになるか分からない。	本計画図4-1に凡例を記載します。また、図4-2にスケールを記載します。	反映する

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	対応
6	いくつかの広場や緑陰スペース等を組み合わせ、季節や時間帯、利用シーンに応じた使い分けができる居場所をつくってほしい。	本計画第3章(3)整備の基本方針で示す内容を踏まえ、施設配置計画を設定しております。多様な機能により、多目的に活用できる柔軟性のあるオープンスペースとしての整備を図ります。 具体的な運営方法等については、今後の参考とさせていただきます。	参考意見
7	整備時点だけでなく、以降の維持管理を考えた施設整備を行ってほしい。	本計画第5章(2)事業手法で示す「公園づくりにおいては、整備と管理運営が一体となった継続性のある事業としての実施が不可欠」の考え方のもと、事業を進めます。	反映済み
8	供用開始後も、市民と運営者が一体となって公園空間を育てるという視点で、使い方等を見直し、改修・運営に反映されていくような仕組みづくりをしてほしい。	本計画第3章(3)整備の基本方針で示す「地域とともに育てる公園づくり」の考え方のもと、多様なニーズや時代の変化に対応しつつ、誰もが参加可能で、地域が育む公園づくりができるよう、整備とともに管理・運営面での仕組みづくりを図ります。	反映済み
9	駐車場は車いす用2台のみで公園機能を果たすスペースを広く取っていること、植栽は在来種を主体とすること、多目的広場はプレーパークも実施可能としていることなど、評価できる。 イベント広場や、マーケットエリア等で行われるイベントのチラシ等を張れる掲示板のようなものをたかの台本通りから見える場所に設置すると良いと思う。	本計画の施設配置計画は、これまでの取組を踏まえた基本的な考え方を示したものです。 掲示板等の具体的な公園施設等の設置に関しましては、今後、本計画で示す考え方を基に設計を進めていく上での参考とさせていただきます。	参考意見
10	中央公園を犬の散歩で活用している。ドッグランができるのではと期待していたが、予定がなく残念。小平市の中央部、西部にはドッグランがないため、鷹の台公園か中央公園のどちらかにドッグランをつくっていただきたい。	本公園及び中央公園内に常設のドッグラン専用スペースを整備する考えはございませんが、広場エリアを用いたイベントの実施等、今後の公園の管理・運営に伴うソフト面の取組に関する参考とさせていただきます。	参考意見

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	対応
11	<p>素案のp.20に、災害時対策として「豪雨時には雨水貯留浸透機能を有する空間へス イッチする柔軟性のある公園…」と記載がされているが、鷹の台公園のはらっぱ広場等の 地下にはプラスチック製の雨水浸透貯留槽の設置等を考えて、将来の災害対策に備えるとい うことか。</p>	<p>都市公園は、大雨の一時的な雨水貯留等を 想定した計画に基づいて整備を行うことによ り、水害を防止、軽減する効果を有します。 本公園整備においても、必要な豪雨対策を 図るため、より効果的な提案を民間事業者等 に求め、防災に寄与する公園を整備します。</p>	参考意見
12	<p>素案のp.23及びp.24にインクルーシブ遊具（複合遊具）の設置に関する記載がある が、ブランコやすべり台等の設置においては、子どもや親子連れが使いやすい製品、遊び たい製品を導入してもらいたい。背もたれブランコ等の設置に当たっては、安全ベルトが 設置しやすい製品を、すべり台においては、波形の幅が広いすべり台等の設置も検討して みては。 実際に利用する子どもたちの声を十分に聞き、子どもたちが自ら遊びたい遊具を選定し て、導入してもらいたい。 ロッキング遊具を導入する場合、小平市の「ぶるべー」をモチーフにしたオリジナル製 品の導入を検討してもらいたい。近隣市でも市の公式キャラクターの遊具を設置している 公園もあり、人気や話題性がある。</p>	<p>該当箇所の遊具については、就学前の幼 児、小学生以上の子ども、障がいのある子ど もが、安全・安心で一緒になって遊べるよ う、バランスをとって設置します。 また、遊具の選定方法につきましては、今 後の参考とさせていただきます。</p>	参考意見
13	<p>素案のp.23、p.24及びp.27に記載の「パークセンター」は、p31に記載の今後導入す る94公園等の指定管理者制度の導入にあたり、鷹の台公園が地域の核となる都市公園を することを求めていることから、拠点施設として考えているということか。</p>	<p>パークセンターは、本公園の管理に必要な 機能として想定しておりますが、他の公園等 を含めた全体の拠点とすることについては、 現在のところ、定まったものはございませ ん。 管理・運営方法等につきましては、今後の 参考とさせていただきます。</p>	参考意見
14	<p>小平市にドッグランの常設をお願いしたい。コロナの影響もあり、小平市内で犬を飼う 方が増えた。四小東公園での仮設ドッグランでボランティアに参加したが、利用者がとて も多く、必要性を十分に感じた。また、ボランティアスタッフもとても意欲的で、今後、 常設でドッグランができた場合にも手伝いができる思う。</p>	<p>本公園内に常設のドッグラン専用スペース を整備する考えはございませんが、広場エリ アを用いたイベントの実施等、今後の公園の 管理・運営に伴うソフト面の取組に関する参 考とさせていただきます。</p>	参考意見
15	<p>たかの台は、小川公民館、津田公民館のようなホール講座室がある施設がない。鷹の台 公園のパークセンターに多目的に使用できる部屋（場所）がほしい。広さはこだわらな い。 たかの台の高齢者の比率は30%ということで、歩いて行ける距離は嬉しい。そこから つながりが広がることで、日々の生活が生き生きとなることだろう。検討いただきたい。</p>	<p>本計画第4章（3）導入施設イメージの⑦ パークセンターで示すとおり、パークセン ター内に多目的スペースの導入を想定してお ります。</p>	反映済み

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	対応
16	駐輪場が街並みの景観を悪くする。	具体的な公園施設等の位置に関するご意見は、今後、本計画で示す考え方を基に設計を進めていく上での参考とさせていただきます。	参考意見
17	高齢者や学生の利用も考慮する必要がある。	これまでの取組の中でも、本公園整備に当たっては、子ども・高齢者・子育て世代などの「居場所」としての機能や、学生の活躍の場としての役割を求められていることから、あらゆる人にとって居心地の良い公園を目指します。	反映済み
18	30年後の樹木の生育を顧慮した植栽計画にすること。	本公園における植栽計画は、適正な維持管理を見据えた内容とすることを基本としておりますが、高木の配置等は、周辺環境を考慮しながら、具体的な検討を進めます。	参考意見
19	生物多様性への配慮が必要。	本計画第3章（3）整備の基本方針で示すとおり、生物多様性の向上を図り、豊かで美しい自然のある環境づくりを進めます。	反映済み
20	防災への配慮。	本計画第3章（3）整備の基本方針で示すとおり、災害時等にも機能する安全・安心の基盤づくりを進めます。	反映済み
21	グリーンインフラの考慮。	本計画第2章（6）踏まえるべき視点で示すとおり、グリーンインフラを考えに基づく整備を進めます。	反映済み
22	テレビで見たトイレにもなる防災ベンチを設置してほしい。災害に強い都市にしてほしい。	本計画第4章（5）防災施設計画で示すとおり、一定の防災機能を備えた公園として、防災倉庫やかまどベンチなど被災後の必要なインフラや資機材を備えます。	反映済み

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	対応
23	<p>ヒアリングやワークショップを開催し、いつも丁寧に進めていただき、ありがたい。1月13日に開催されたイベントも楽しかった。素案に対する意見というより、ワークショップに参加してきた感想になるが、鷹の台公園は立地から玉川上水や中央公園とのリンクが可能で、公園単体ではなく、商店街に買い物に来た人、玉川上水を散策に来た人、中央公園でのスポーツ、イベントで訪れた人、それぞれがそれぞれの時間を過ごす中、「緑が多くて気持ち良い」「新しい出会い、発見があった」「満ち足りた時間、流れる時間が心地よい」など、エリア全体、まち全体がそうした雰囲気になれば素敵だと思う。</p>	<p>本公園の整備目標「鷹の台公園を核に地域のつながりを活かし、まちの価値を高める」の実現を目指し、事業を進めます。</p>	参考意見
24	<p>鷹の台公園周辺には、保育園、幼稚園、ゆうやけ子どもクラブ、高齢者施設などがたくさんある。こうした施設の利用者が散歩で使えるようなインクルーシブ遊具などを揃えていただきたい。</p> <p>また、その親御さんなどが、送迎の帰りに立ち寄って、交流する場所を作っていただきたいと思う。お茶を飲み、時間帯によっては昼食を共に食べる場所であったり、子どもの貧困が問題になっている中で、子ども食堂を開催するなど時間帯によってさまざまな使い方ができれば、地域の絆が深まると思う。</p> <p>2013年から2020年まで開いていたほっとスペースさつきのように、高齢者や子どもたちと交わる世代間交流もできる居場所が公園の中にできることを希望する。</p>	<p>本計画第3章(3)整備の基本方針で示す「乳幼児から小学生以上の子ども、障がいのある子ども等、様々な子どもの来園を視野に入れ、多様な遊びを提供し、遊びの選択肢があるインクルーシブな公園づくりを行う」という考え方のもと、多様な遊び要素を体験できる遊具をバランスをとって配置するとともに、誰にとっても居場所となりうる施設づくりを図ります。</p>	反映済み
25	<p>素案を熟読したが、小平市民の声をまとめればこうなるだろう。しかし、これでは「市外から人を呼び込む工夫」に欠ける。小平の人は盛んにみどりを口にするが、小平程度のみどりで外から人は呼べない。そこで東京都内にはない「巨大迷路」を提案する。</p> <p>工事廃材を利用すれば、建設費は安上がりで済み、あるいは、多摩産材を用いることで、子どもたちの森林教育にもつながる。可動部がないため、メンテナンス費用も少なく長持ちする。立体化すればランドマークになる。津田梅子とあわせて十分なシティセールスになる。</p> <p>一方で、設計が難しく、利用者はすぐに慣れてしまうため、時々コース変更が必要になる。</p> <p>アイテムは何でも良いが、外から人が集まって来るようになれば、近隣の店舗にお金落ちて地域経済が活性化する。地元雇用も生まれ、子育て中の方や、元気な高齢者が隙間時間に働ける。小平市の税収も増え、福祉や環境保護にお金を回せるようになる。そういう発想を、ひとりでも多くの小平市民に持ってもらいたい。</p>	<p>本計画第3章(3)整備の基本方針で示す「にぎわいや滞留を生み出す空間づくり」という考え方のもと、本公園が地域の核として、公園だけでなく、地域ににぎわいをもたらす波及効果を生み出す事業となることを目指します。</p> <p>なお、実際の整備、及び管理運営にあたっては、本計画を基に、民間事業者等の創意工夫が活かされた提案により、よりよい公園が整備されることを期待するものです。</p>	参考意見
26	<p>周辺住民の声を事前に取り入れていただき、市民の希望の詰まった基本計画になっていると感じた。「小平で一番広い平な原っぱ公園」にいただきたい。季節の植栽は玉川上水にも沢山あるため、もう少し狭くても良いのでは。</p>	<p>はらっぱ広場や植栽のエリアは、地域のご意見を反映して計画されたものです。具体的な広さは定まっておりませんが、今後、本計画で示す考え方を基に設計を進めていく上で参考とさせていただきます。</p>	参考意見

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	対応
27	<p>私自身が産休の際に感じたのは、乳幼児の子育て世代が利用しやすい公園が市内に少ないため、オムツ替え台の充実や子どもトイレのある空間、授乳室・給湯設備の設置を切に要望する。公園内に設置が難しい場合は、商店街などの給排水設備のあるところに設置してほしい。駅向こうの中央公園までは遠く、手軽なショッピングセンターや、小金井公園等の他市の公園に出向いてしまう。</p> <p>トイレトレーラーのイベント時の利用や、ソーラー発電ブランコの設置等の新しく楽しい防災設備導入も検討をお願いしたい。</p>	<p>本計画第4章(2)施設配置計画で示すとおり、トイレについては、パークセンター内に導入することを想定しております。</p> <p>また、一定の防災機能の導入も検討しておりますが、具体的な設備等については、本計画で示す考え方を基に、設計を進めていく上での参考とさせていただきます。</p>	参考意見
28	<p>遊育広場と多目的広場が遠くないか。兄弟で連れて行く場合に不便になるのではと感じた。遊育広場は車道にも近いため、飛び出しや車両が入ってくるリスク軽減の検討と、多子世帯や、近隣保育園への意見聞き取りをお願いする。</p> <p>多目的広場近くにも、自転車やベビーカー置き場があると良い。道路向きばかりでなく、公園側から止められるスペースもあると良いと思った。道路への子どもの飛び出し注意や見栄えのため。</p>	<p>施設配置については、これまでに実施したヒアリングやワークショップ等でいただいたご意見を基に作成しております。</p> <p>なお、具体的な公園施設等の設置や位置に関するご意見は、今後、本計画で示す考え方を基に、設計を進めていく上での参考とさせていただきます。</p>	参考意見
29	<p>マーケットエリア近くにもテントやイベントで使えるテーブル等の備品庫があると良い。</p>	<p>具体的な公園施設等の設置や位置に関するご意見は、今後、本計画で示す考え方を基に、設計を進めていく上での参考とさせていただきます。</p>	参考意見
30	<p>パークセンターの屋上に、太陽光や2階から玉川上水を眺めたり、中高生や大学生等多世代がのんびり過ごせる空間があると良い。</p>	<p>パークセンターの屋上部分の利用については、今後、設計を進めていく上での参考とさせていただきます。</p>	参考意見
31	<p>樹木やベンチは、市民やふるさと納税の寄付で費用を募っていただきたい。共同でも自分の樹が公園にあると愛着が湧く。</p>	<p>今後の管理・運営における取組の参考とさせていただきます。</p>	参考意見
32	<p>運営事業者が決まった段階から、市と市民と事業者の3者が継続して定期的に公園運営の意見交換を今後も続けていただきたい。</p> <p>今後の公園計画や運営に期待する。</p>	<p>本計画第4章(7)管理運営の考え方で示すとおり、本計画の目標実現に向けては、利用者目線による管理運営、活用が不可欠と考えております。</p> <p>具体的な運営方法等については、今後、検討してまいります。</p>	参考意見

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	対応
33	1月13日のイベントでたき火などレトロさを感じたため、公園をつくるなら新しすぎない雰囲気が良いと思った。	本計画第3章(3)整備の基本方針で示すとおり、周辺景観と調和した豊かで美しい公園を目指します。	参考意見
34	小平市にはドッグランが無いため、鷹の台公園にもできたら良いと思う。	本公園内に常設のドッグラン専用スペースを整備する考えはございませんが、広場エリアを用いたイベントの実施等、今後の公園の管理・運営に伴うソフト面の取組に関する参考とさせていただきます。	参考意見
35	公園内に犬が入っても良いようにしていただきたい。	小平市立公園においては、面積が500㎡以上の公園はペットの立入りを可能としており、同様の取扱いを想定しています。	参考意見
36	ドッグカフェができれば遠くから愛犬家が来ると思う。長年保守的で変化を好まない小平市の新しい風になってくれれば良いと思う。	カフェ等の収益施設については、民間事業者による公募提案内容となるため、本計画には記載いたしません、参考とさせていただきます。	参考意見
37	マンションと公園間の歩行者用道路との境界は、植栽を希望する。	本計画第4章(2)施設配置計画で示すとおり、隣接するマンションとの境界については、植栽帯を設けることを想定しております。	反映済み
38	公園予定地は思ったより広い。小平市西部にドッグランがないため、よろしく願いたい。散歩コースにドッグランがあると、ガソリンを使うこともなく、わんちゃん友達の輪が広がり、良いことがたくさんある。	本公園内に常設のドッグラン専用スペースを整備する考えはございませんが、広場エリアを用いたイベントの実施等、今後の公園の管理・運営に伴うソフト面の取組に関する参考とさせていただきます。	参考意見
39	たかの台本通りに面してマーケットエリアを設ける計画はとても良いと思う。地元農家の直売が、駅前の商店街で行われたら、地元野菜や小平の農業への愛着や理解が深まり、地域振興・農業振興にもつながると思う。	本計画第4章(1)①ゾーンプランニングで示すとおり、本公園南側のたかの台本通り沿いは、商店街と一体となった活気醸成を目指します。 地元農家の直売については、今後の公園の管理・運営に伴うソフト面の取組に関する参考とさせていただきます。	参考意見

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	対応
40	無電柱化とあわせて、本通りの景観がより開放的になって街の魅力が高まると思う。小平には雑木林とともに歩んできた歴史があるため、雑木林の木々に直に触れ、木々がある良さを体感できる公園にしてほしい。	本計画第4章(4)植栽計画で示すとおり、散策エリアを含む緩衝ゾーンについては、周辺環境と調和した武蔵野地域らしい風景を形成するため、雑木林を形成する樹種を取り入れます。	反映済み
41	1.水車通りの北方向からたかの台駅への近道を設けること。 2.昔の小島水車角の交差点の中心線を軸線(A)として左右対称のレイアウトとすること。 3.マンションの中庭(の中間)を通して中央公園からの動線を軸線(B)として(A)(B)との交点に新規建物を設けること。 4.玉川上水と直行する現状の市道(W=6m)の延長と「3」の交点とドッキングする部分の新規建物を設けること。	本計画は、事業の開始段階から、市民の皆様とともに多様な取組を重ね、地域の意向把握、事業の周知・啓発などを進めて策定に至っており、計画内容の大幅な変更は考えておりません。	反映しない
42	(1月13日のイベントでの)公園計画の展示は、好感を持って拝見した。配置図が示されていた「はらっぱ広場」を中心にした配置は、機能的だと思う。広場を含めて、天然植栽、四季折々の花が楽しめる花壇の配置も、細部の検討では取り入れられることを期待する。	具体的な公園施設等の設置に関するご意見は、今後、本計画で示す考え方を基に設計を進めていく上での参考とさせていただきます。	参考意見
43	子どもたちにも人気のある昆虫が集まるクヌギ林などの配置も検討されると、広域的な生態系ネットワークになると期待する。	本計画第4章(4)植栽計画で示すとおり、散策エリアを含む緩衝ゾーンについては、周辺環境と調和した武蔵野地域らしい風景を形成するため、雑木林を形成するクヌギやコナラ等の樹種も取り入れます。	反映済み
44	防災倉庫は小さく分けるより、管理棟などと一体化して多目的施設にすることや、ゲル・テント(多数)を、入れておくのは、いかがか。ゲル・テントは、被災時に必要な場所(医療現場などにも)に1時間くらいで設置できるほか、今回のようなイベントで模擬店用に使うことができる。普段から使い慣れた防災備品であることが重要である。鷹の台公園整備の考えが、他の市内の近隣公園に反映されることを期待する。	具体的な公園施設等の設置や位置に関するご意見は、今後、本計画で示す考え方を基に設計を進めていく上での参考とさせていただきます。 また、備品については、今後の公園の管理・運営に伴うソフト面の取組に関する参考とさせていただきます。	参考意見
45	公園内に災害用(生活用水用)の井戸を設けてほしい。手動型、ポンプ型の両方が使えるもの。災害時、手動型は有効である。 今回の能登半島地震での状況をみても水の問題は極めて深刻であり、飲料水はますます補給されているが、生活用水(特にトイレ用水)は不足している。小平市は避難所(学校等)、公園に井戸はない。 現状ある公園に新しく井戸を作るのは、やや難しいかと思うが、今回の鷹の台公園はスタートからのものであり、開園時から公園の中の井戸があれば住民はなじむ。公園開園時でないと、永遠に設置できない可能性がある。園内に市関係の管理事務所が予定されており、管理人が管理できる場所での設置であれば、安全性等保全できると考える。また、新たに設置される井戸は、安全性等考慮されていると思われる。	現在のところ、本公園内への井戸設置は考えておりませんが、具体的な公園施設等の設置に関するご意見は、今後、本計画で示す考え方を基に設計を進めていく上での参考とさせていただきます。	参考意見